

都、IOC、組織委員会、国による四者協議について

開催概要

- **開催日** 平成28年11月29日(火)
- **出席者**
 - ・ 小池 百合子 東京都知事
 - ・ ジョン・コーツ IOC副会長／第32回オリンピック競技大会(2020/東京)調整委員会委員長
 - ・ 森 喜 朗 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長
 - ・ 丸 川 珠 代 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣 ほか

会場見直しについて

- **ボート・カヌー(スプリント)会場**
 - ・ 海の森水上競技場で、当初案から整備レベルを変更し、整備費を縮減して整備する(スマート案)。
 - ※ 宮城県長沼ボート場については、事前キャンプ地として活用
- **水泳会場**
 - ・ オリンピックアクアティクスセンターを、現計画地において、当初の2万席規模を1万5千席規模に縮小して新設し、大会後の減築は行わない。
- **バレーボール・車椅子バスケットボール会場**
 - ・ 今回は結論を出さず、引き続き、「有明アリーナ案」と「横浜アリーナ案」の双方について検討する。
 - ※ 主な検討事項
 - 有明アリーナ:建設コストの精査、収支計画、民間の活用
 - 横浜アリーナ:会場外スペース、動線、輸送、周辺住民・地権者の合意
 - なお横浜市から、平成28年11月25日付で、横浜アリーナの活用についての横浜市の考え方を示す文書を受領済み
 - ・ 検討期限は、クリスマスまでとする。

その他

- **組織委員会の発言**
 - ・ 現段階では、大会予算は2兆円を切る見込みである。
 - ・ 大会経費のさらなる削減努力を行う。